



## 学童保育指導員の“オンライン交流会”

NEWS

◆「保育で大切にしていること」



知久 金田

金田知久さん  
(大府市/9年目)

HEROのキムタクに憧れて  
法学部に入ったけど六法  
全書が重すぎて…はちがう  
「子どもに勉強を強いる職業」を探し  
とて教えました。「子どもが大事  
に経験するこまな学童保  
りを作りたい」という思い

7月6日(火) 県連協指  
導員会主催で、指導員交流  
会を行いました。

【金田】小学校の6年間は、いろいろな経験ができる  
とき。「やってみよう」と  
言うことに挑戦できるよう  
関わっていく中で、子ども  
たちの気持ちに寄り添うこ  
とを大事にしています。な  
んやかんや言いながら「だ  
め〜」っていうこともある  
けど、子どもが「やりたい」  
っていう気持ちを「わかっ  
たよ」って伝え合っていく  
ことは、子どもが安心でき  
ると思うし、信頼関係がで  
きることと思う。僕が働きはじ  
めたころは「集団で子ども  
をみる」意識はなかったで  
すね。集団を意識する意味  
があるのかと、当時は思っ  
たけど、仲間関係のなかで  
育っていくということ、み  
んなで一緒にやることって、  
すごく大切。コロナ禍で行  
事ができないときに、子ど  
もたちが「まつりをやりた  
い」と言ったら、何のお店に  
するか募ってやってみまし  
た。子どもたちが看板を作  
ったり、高学年が低学年を

リードして、子ども同士で  
教え合う。集団で何かでき  
る行事というものを最近す  
ごく大事にしています。

【内藤】子どもたちは、  
毎日すごくがんばっている  
ので、学童保育でのんびり  
できるようにしたいと思っ  
ています。でも集団生活な  
ので「手を洗って」「次はこ  
うして」というのはあるけ  
ど「次はこういうことをし

内藤康代さん  
(津島市/10年目)

者、育すいなも正し  
護童過っそなけてま  
保学となにかをな  
はに達く。指をトに  
も迎子がま、指とパ  
もおでこき頃、かい指  
も



わんぱく

## CONTENTS

p.1~3

- ・学童保育指導員のオンライン交流会
- ・四コマ漫画

p.4

- ・地域連協紹介



たいな」とどんどん意見が  
出てくるような環境をつく  
っていききたいなって思いま  
す。集団で学童保育だから  
できることってあると思っ  
ます。  
実際には道具が揃えられ  
ないとかお出掛けやプール  
やりたいとか子どもから希  
望が出て、なかなか実現  
させてあげられないことも  
多くて。  
「水遊びもやりたいよね」  
「泥遊びもやりたいよね」  
って思う。大人の事情もあ  
るけど、子どもの気持ちは  
分かってほしいと思います。



仁城 奈美子

仁城奈美子さん  
(瀬戸市/18年目)

かし育仕どかけ強ま  
たわ保ぶ子ばた勉き  
りこ童遊らるめてて  
やを学とたれ辞れつ  
が体、生つら度入戻  
育どい学思め一腰と  
体けま小とな。本う  
児たし。かにで、よた  
幼ってへ。事もりどしし

【仁城】私は瀬戸の田舎育ちで、小学校は全校児童67人。当時から「異年齢集団」で遊んでいました。学童保育の子どもたちには「たくましく生きてほしい」「言いたいことを言ったり、やりたいことをやってほしい」「学童保育ですべてを出してほしい」これが

モットーかな。私は必然的に？異年齢集団で遊んでいたけど、集団を保育する側になると難しいんだなと思っています。

今の現場は、縦割りの関係があまりなくて、好き勝手やっているという不思議な子どもも集団でした。そのなかに私が赴任して。班をついたら「なんでやらんといかんのだ」と子どもにも言われ、帰ってきた子どもがおやつを勝手に食べたり、「帰ってきたらなんで宿題やらなきゃいけないんだ！」と子どもと言いきりながら関係性ができてきて。自分なりに良かっと思っております。集団をつくることの難しさを4年前に知りました(笑)。いろんな学童保育をまわっているなかで、いろんな子どもと出会い、そこにはその顔がある。どれも良いのかわからないから探しながらやっています。

平岩葉介さん  
(岡崎市/18年目)

しでし講どお現  
指所ま勤けをず  
目を常たもれす  
を保つどめら  
員童し、あ辞り  
の教中もの前  
高のらト途話の師  
校がイバた。師目  
なバのののいて  
在にいた



yosuke hiraiwa

【平岩】指導員が居なくてもまわっていくのが理想的だといつも思っています。今の現場は4年目で、なかなか言いにくいけど、マンガを読みながら、おやつを食べています。経緯はいろいろあったんだけど黙認しています。子どもたちは幸せそうにおやつを食べていますよ(笑)。新しい指導員

さんはビックリするから、職員会議でよく議論になりますね。寝ながら食べていたら注意しますが、宿題についても、特に時間やルールを設けていないし、おやつを食べながらやっている子もいます(笑)。寝ながらマンガを読んでも邪魔にならない程度は良いんす。教材も特に制限してないので、しいて言えば「むだづかいしない」がルールかな。子どもたちに「自分でやって」ってスタイルだから、同僚の指導員は大変だと思う。僕が言いたいのは「子どもの自治」。お昼ご飯やおやつ準備も当番制ではなくて、やりたいう子が手伝うから、逆に時間がかかるときも多いけど、僕は理想的だと思ってあまりガミガミ言わないようにしています。良いのか悪いのか、やってる僕にもわか

らないけど、このスタイルはよくビックリされますね。

【木和田】平岩さんのと

ころと似てるな。指導員が中心の学童保育というよりは、子どもたちが中心で子どもが動かしていったってほしいと思います。子どもたちで話し合って、高学年の子が引っ張ってほしいなと思う。私があんまり前面に出てこなくて裏方に徹すれば良いと思っています。対人関係の仕事は、どれでも言えると思うけど、子どもの前で、たとえ嫌なことがあっても、いつも同じようなテンションで関わりたいと思っています。「子どもたちの前では女優にならないといけませんよ」と言われたことがあって、本当の自分はヘニョヘニョしているけれど、自分の感情を出すとよりよは、もう一人の自分を出すようにしています。昔は、卒業した子どもたちは旅立っていった



## 地域連協の紹介

今冬、12月5日(日)には、「みんなで話そう学童保育ひろば in 岡崎」を開催予定です。岡崎の学童保育がよく分かる交流を企画していますので、皆さん参加をお願いいたします。(場所や日時などの詳細は別途、ご案内します)

今回は岡崎です。NPO法人岡崎がくどうの会は、岡崎市内で6か所の学童保育所を運営しています。もともとは、保護者が運営していた学童保育所でしたが、保護者が運営にかかわることの負担や不安や不安定さを解消して、学童保育所を安定的に運営していくために、2013年4月から一括運営をスタートさせました。コロナ禍でなかなか思うようにできないことがたくさんありますが、当会の特徴的な取り組みをご紹介します。



【おかさき学童保育まつり】(写真左)

毎年秋に開催している「学童保育をアピールして、子どもも保護者も指導員も楽しもう」をコンセプトにしたイベントです。各クラブでゲームブースを準備してゲームラリーしたり、ステージを活用してみんなであそびます。2019年度は、一般の参加者もあわせて1554名の参加がありました。

【ONEテーマ会】

6クラブから担当の保護者と指導員があつまって、ひとつのテーマで語り合います。年6回開催し、これまでは「あそび」「高学年」「宿題」「けんか」「イベント」「おやつ」などをテーマにしています。保護者会運営から当会の一括運営にシフトしたことで、どうしても学童保育への保護者のかかわりが希薄になることが懸念されたため、意図的に企画したという経緯があります。

【高学年プロジェクト】(写真下)

学童保育の生活づくりは、どうしても低学年中心になりがちです。「たまには高学年だけでハイレベルなことに取り組もう」をコンセプトに企画して、毎回100名くらいが参加します。南知多で地曳網&BBQ&ストレッチ&プールというフルコースの企画がいちばん人気ですが、指導員はヘロヘロになります。

【学童保育カンファレンスルームIN岡崎】

森崎照子さん\*を講師に招き、年10回で開催しています。「子どもたちの毎日の言動に指導員がどうかかわっていくか」「子どもたちの本当の気持ちにどこまで寄り添うことができるか」指導員の力量の向上は、保育内容の向上と子どもたちのハッピーな生活につながります。当会の指導員以外にも参加が可能です。

### NPO主催 高学年プロジェクト



#### \*森崎照子さん

小学校教師を目指しつつ、教育と福祉を学ぶ。名古屋の保育所で保育者を7年勤めた後、学童保育指導員として28年勤務。現在、学童保育カンファレンスルーム代表、日本学童保育学会会員、あいち保育研究所所属、学童保育指導員研修講師、学童保育アドバイザー  
 (『磨き耕す保育者のまなざし 学童保育カンファレンス』より)

#### ★編集後記★

少しずつ、秋の気配を感じます。秋の虫の鳴き声だったり…と、五感を研ぎ澄ませば季節の変わり目も楽しくなりますよね(▽)/